

長田夏樹氏旧蔵図書目録1(古代文字資料館管理分)

吉池孝一

長田夏樹先生の旧蔵学術資料のうち、拓本類の目録は『KOTONOHA』115号に¹、抜刷論文・電子複写論文・口頭発表資料の目録は同119号にある²。図書のうち、朝鮮語学関連図書目録は東京外国語大学朝鮮語研究室より出ている³。ロシア語図書(語学関係)については本資料館にて整理を開始したところであり時間を必要とする。小文は、上にあげたもの以外の古代文字資料館で管理している図書の目録ということになる⁴。

【総合】

L'Académie Impériale des Sciences(1873-1876) *Mélanges Asiatiques* 7. St.-Petersbourg.

【Schiefner, A., “Baron Gerhard von Maydell’s Tungusische Sprachproben. 及び Schiefner, A., Tungusische Miscellen.” を含む】

L'Académie Impériale des Sciences(1876-1881) *Mélanges Asiatiques* 8. St.-Petersbourg.

【Schiefner, A., “Alexander Czekanowski’s tungusisches Wörterverzeichnis. ” を含む】
dargebracht von Freunden und Schülern(1912) *Festschrift Vilhelm Thomsen. zur Vollendung des*
siebzigsten Lebensjahres. Leipzig: Otto Harrassowitz. 【Ramstedt, G. J. “ Zur Geschichte des
labialen Spiranten im Mongolischen. ” を含む】

大連図書館(1943)『書香』16-10(通 151).南満洲鐵道株式會社. 【北川房次郎「遼の金面縛肢葬
小考」、山本守「靜嘉堂本女眞譯語攷略」、イ・ザハーロフ「滿洲語文典について」を
含む】

大連図書館(1944)『書香』16-1(通 154).南満洲鐵道株式會社. 【彌吉光長「ワイリよりユール
への書翰」、今西春秋「滿和對照滿文老檔(三)」を含む】

大連図書館(1944)『書香』16-2(通 155).南満洲鐵道株式會社. 【今西春秋「滿文本「異域録」
について」、今西春秋「滿和對照滿文老檔(四)」、エヌ・エヌ・ポッペ「蒙古語に關する
諸文献」を含む】

大連図書館(1944)『書香』16-3(通 156).南満洲鐵道株式會社.

¹ 長田礼子・吉池孝一・武内康則・中村雅之(2012)参照。

² 吉池孝一(2012)参照。

³ 伊藤英人(2012)参照。

⁴ この場をお借りし資料の使用をご快諾くださった長田家の皆様に感謝申し上げます。

- 大連圖書館(1944)『書香』16-4(通 157).南滿洲鐵道株式會社.【今西春秋「滿文本「異域録」について(補)」、今西春秋「譯注滿文老檔(五)」を含む】
- 日本言語學會(1951)『言語研究』17・18.【村山七郎「契丹文字解讀の方法」を含む】
- アジア・アフリカ言語研究室(1952)『言語集録』第3號.1953年9月1日.【山路廣明氏の契丹語論文を含む】
- アジア・アフリカ言語文化研究所(1979)『アジア・アフリカ語の計数研究』11.【クセニア・B・ケピング「タンゲート語の能格構造」(ロシア語)を含む。書き込みあり】
- アジア・アフリカ言語研究室(1955)『言語集録』第6號.1955年8月1日.【山路廣明氏の契丹語論文を含む】
- 考古雜誌社(1962)『考古』1962(5).【北京市文物工作隊「北京南郊遼趙德鈞墓」(漢文墓誌銘あり)を含む】
- 考古雜誌社(1963)『考古』1963(1).【俞偉超「鄴城調査記」、羅繼祖「關於新出土的三方遼墓誌的考証」、宿白「元大都《聖旨特建釋迦舍利靈通之塔碑文》校註」を含む】
- 考古雜誌社(1966)『考古』1966(5).【洲傑「內蒙古昭盟遼太祖陵調査散記」(契丹大字碑片あり)を含む】
- 內蒙古社會科學編輯部(1981)『內蒙古社會科學』1981(5).【劉鳳翥「契丹大字和契丹小字的區別」を含む、劉氏より長田氏への献辞あり】
- 中国社会科学院考古研究所(1982)『考古學報』1982(3).【史金波・白濱「莫高窟榆林窟西夏文題記研究」,天津市文物管理处考古隊「武清東漢鮮于璜墓」含む】
- 黑龍江省文物出版編輯室(1983)『黑龍江文物叢刊』1983(2).【劉鳳翥「《全遼文》中部分碑刻校勘」、李殿福「唐代渤海貞孝公主墓壁画與高句麗壁画比較研究」を含む】
- 《民族語文》編輯部(1988)『民族語文』1988(3).【閻萬章「契丹文《蕭袍魯墓誌銘》考釋」を含む】
- 【契丹語】**
- 羅振玉撰(1924)『唐折衝府考補』第二、第三.【本書は契丹小字碑文の模写を収める】
- 金毓黻編録(1934)『遼陵石刻集録』(上冊)奉天圖書館.
- 田村實造・小林行雄(1952-53)『慶陵 東モンゴリアにおける遼代帝王陵とその壁画に關する考古學的調査報告』(上卷本文冊、下卷圖版冊)京都大學文學部 座右寶刊行會.【附表「接尾語として用いられた契丹文字の類別表(1)(2)」に少々書き込みあり】
- 中國北方古代文化國際學術研討會(1993)『中國北方古代文化國際學術研討會 論文提要』中國/赤峰 1993.8. 全 147 頁.
- 劉鳳翥(2005)『遍訪契丹文字話拓碑』北京:華藝出版社.【書き込み有り】

【西夏語】

羅福成(1914)『西夏譯蓮華經考釋』 東山學社.

渡部薫太郎(1926)『西藏文字對照 西夏文字抄覽』 大阪:大阪東洋學會.

【女真語】

長白麟(清)『鴻雪因緣圖記』一集上下、二集上下、計四冊線装挾板。光緒十年、申報館申昌書畫室發兌。【二集上十四葉に女真進士題名碑の記述を含む「宴臺訪碑」あり。当該部分に紙片の挟み込み及び本文に句読などの書き込みあり】

劉師陸(1833)『女直字碑攷、女直字碑續攷』。【B5 大紙 5 枚の刻本。「道光癸巳歲重九日劉師陸識於大梁書院東齋」とある】

羅福成(1933)『女真譯語』 正編 1 冊(語彙)、續編 1 冊(來文).大庫舊檔整理處印。【書き込み有り】

安馬彌一朗(1943)『女真文金石志稿』。【多量の書き込み有り】

Grube, W. (1896) *Die Sprache und Schrift der Jučen*. 『女真語言文字考』 Leipzig.北平:文殿閣書莊 1935 年影印.

Grube, W. (1896) *Die Sprache und Schrift der Jučen*. 『女真語言文字考』 Leipzig.天津:1941 年影印。【書き込み有り】

三上次男(1937)『金代女真の研究』 滿日文化協會.

羅福頤(1937)『滿洲金石志(3,4,5,6 卷, 別録)』 滿日文化協會。【3,4,5,6 卷は各 2 冊有り。女真語部分に書き込み有り。別録は 1 冊】。

【蒙古語】

『千字文』 čiyān dz wen bičig ün debter.線装本 1 冊.著者等不記。【上段:漢字と滿洲文字注音。下段:蒙古文字蒙古語(但し漢語音は滿州文字表記)】

Schmidt,I.J.(1831) *Grammatik der Mongolischen Sprache*. 北平:文殿閣書莊 1937 年影印.

Schmidt,I.J.(1835) *Mongolisch-Deutsch-Russisches Wörterbuch*. St. Petersburg. 北京: 文殿閣書莊 1939 年影印.

羅福成校録(1936)『蒙兀兒譯語』(『華夷譯語(甲種本)』)。【書き込み有り】

鈴江萬太郎(1916)『蒙古支那日本 對照實用語彙』 出版:不祥.

ア・デ・ルードネフ著・山口茂一譯(1919)『蒙古文典』 譯者發行.非売品.

Ramstedt,G. (1935) *Kalmückisches Wörterbuch*. Helsinki: Suomalais-Ugrilainen Seura.

白鳥庫吉(1942)『音譯蒙文元朝秘史』 東京:東洋文庫.

Poppe, N. (1951) *Khalkha-mongolische Grammatik*. Wiesbaden: Franz Steiner Verlag.

北京蒙文書社編(1956)『蒙文分類辭典』 北京:民族出版社。【蒙文】

Poppe, N. (1957) *The Mongolian Monuments in Hp'ags-pa Script*, Second Edition translated and

edited by J.R.Krueger, Wiesbaden.

Chinggaltai (1963) *A Grammar of the Mongol Language*. New York: Frederick Ungar Publishing Co.

Mostaert, A. (1968) *Dictionnaire Ordos*. Seconde Édition. New York : Johnson Reprint Corporation.

Mostaert, A. (1969) *Manual of Mongolian Astrology and Divination*. Cambridge: Harvard University Press. 【19世紀の写本 61 様の影印を含む】

Poppe, N. (1968) *Tatar Manual*. Bloomington: Indiana University.

Poppe, N. (1970) *Mongolian Language Handbook*. Washington: Center for Applied linguistics.

胡格金台(1977)『達呼爾故事滿文手稿』臺北:文史哲出版社.

內蒙古自治區社會科學院・蒙古語言文字研究所(1983)『漢蒙詞典』呼和浩特:內蒙古人民出版社.

賽熙亞樂(1987)『成吉思汗史記』呼和浩特:內蒙古人民出版社. 【蒙文】

薩仁格日勒・小長谷有紀(2002)『青海省モンゴル族民族文化における資料とその解釈—ナス トニー・ジル・アルホーラハ・バヤルを事例に』吹田:國立民族學博物館.

【滿洲語】

『御製勸善要言』han i araha sain be huwekiyebure oyonggo gisun. 【滿漢合璧 1冊.序に順治十二年とある】

『聖諭廣訓』enduringge tacihyan be neileme badarambuha bithe. 【滿漢合璧 1冊.序に hūwaliyasun tob i jai aniya juwe biyai ice juwe (雍正二年二月初二)とある。滿洲語手寫書付 1枚あり】

萬福(1885)『清文虛字指南編』1冊.

今西春秋譯(1938)『滿和對譯滿洲實錄』日滿文化協會.

滿文老檔研究會(1955)『滿文老檔 I 太祖 1』東京:東洋文庫. 【訂正の書き込み有り】

滿文老檔研究會(1957)『滿文老檔 II 太祖 2』東京:東洋文庫.

滿文老檔研究會(1958)『滿文老檔 III 太祖 3』東京:東洋文庫.

滿文老檔研究會(1959)『滿文老檔 V 太宗 1』東京:東洋文庫.

滿文老檔研究會(1961)『滿文老檔 V 太宗 2』東京:東洋文庫.

滿文老檔研究會(1962)『滿文老檔 VI 太宗 3』東京:東洋文庫.

滿文老檔研究會(1963)『滿文老檔 VII 太宗 4』東京:東洋文庫.

東洋文庫清代史研究室(1972)『舊滿洲檔天聰九年 1』東京:東洋文庫.

福田昆之(1987)『滿洲語文語辭典』横浜:FLL.

中國第一歷史檔案館・中國社會科學院歷史研究所(1990)『滿文老檔 上下』北京:中華書局.

【テュルク語】

Loewenthal, R.(1957) *The Turkic Languages and Literatures of Central Asia*, A Bibliography.
's-Gravenhage:Mouton and Co.

Hermann Vámbéry (1867) *Ćagataische Sprachstudien* : enthaltend grammatikalischen Umriss,
Chrestomathie, und Wörterbuch der ćagataischen Sprache. Leipzig: F.A. Brockhaus.

【西藏語】

高炳辰・温存智・朱生蘭他(1954-57)『漢藏新詞彙』1(54),2(55),3,4(57)集.北京:民族出版社.
才旦夏茸(1980)『藏文文法』蘭州:甘肅人民出版社.

【ロシア語】

デ、エヌ、トドロウイチ・佐藤勇(1935)『最新露日會話』東京:橘書店.
八杉貞利(1939)『訂正増補 初等露語文法』東京:大倉書店.第6版.
井桁貞敏(1941)『露語動詞の體』東京:三省堂.語學文庫.

【其他】

羅振玉(1930)『本朝學術源流概略』大連:中日文化協會.全27頁.
白鳥庫吉著・方壯猷譯(1934)『東胡民族考』上海:商務印書館.
Tung-ho Tung(1953) *Languages of China*. Taipei: China Culture Publishing Foundation.
【董同龢著 中國的語言.全14頁】

Poppe, N. (1965)*Introduction to Altaic Linguistics*. Wiesbaden: Otto Harrassowitz.
Poppe, N. (1968) *Vergleichende Grammatik der Altaischen Sprachen*. Wiesbaden:
Otto Harrassowitz.

〈参考文献(発行年順)〉

長田礼子・吉池孝一・武内康則・中村雅之(2012)「長田夏樹氏旧蔵拓本目録」『KOTONOHA』
115:1-3.
伊藤英人(2012)『長田夏樹先生旧蔵朝鮮語学関連図書目録』東京:東京外国語大学朝鮮語研
究室.
吉池孝一(2012)「長田夏樹氏旧蔵学術資料目録—抜刷論文・電子複写論文・口頭発表資料—」
『KOTONOHA』119:1-4.

*本稿は平成25年-平成27年度科学研究費助成事業基盤研究(C)課題番号25370488「遼金
元清文字資料の研究—電子データ化を中心として—」の助成による成果の一部である。